

看護実習Ⅰ

科目ナンバリング FUN-202
選択 1単位

内山 由美子

1. 授業の概要(ねらい)

養護教諭に必要なとされる看護援助の原理・原則を理解し、基礎的な知識と技術を習得するための実習である。
なお、本科目は、実務経験のある教員による授業です。担当教員は病院等の臨床現場や消防の病院前救急相談の経験を持つ看護師であり、また、児童福祉施設での実務経験や医原性感染症被害者の相談活動の経験を有する社会福祉士です。学校保健現場で必要となる看護分野の知識や技術の習得だけでなく、医療や福祉分野との連携をはかることができる養護教諭育成を目指し、医療・福祉の両現場経験を交えた講義を展開していきます。

2. 授業の到達目標

- 1) 養護教諭に必要な看護技術の原理・原則を理解し、技術を実践することができる。
- 2) 大学内にある診療所を見学し、その機能と役割を理解できる。
- 3) 保健室で遭遇すると考えられる事例について、緊急度判断のツールを活用し、考察することができる。

3. 成績評価の方法および基準

実習日のうち4/5以上出席し、期日までに提出物を提出できた場合、以下の基準で成績評価を行います。
(出席日数不足や提出物遅延は評価の対象とならず、単位を修得できません)

実技試験:30%

診療所見学実習前・後レポート課題:10%

筆記試験:50%

ポートフォリオ:10%

実習は全日参加しなければなりません。

減点:総合評価点より、欠席は1日につき10点の減点、遅刻早退は5点の減点になり、欠席回数分の補習課題があります。

4. 教科書・参考文献

教科書

看護がみえる③フィジカルアセスメント メディックメディア

参考文献

緊急度判定プロトコルver.2

<https://www.fdma.go.jp/mission/enrichment/appropriate/appropriate002.html> 総務省消防庁

大谷尚子ほか 養護教諭のためのフィジカルアセスメント 日本小児医事出版社

大谷尚子ほか 養護教諭のためのフィジカルアセスメント2 日本小児医事出版社

5. 準備学修の内容

テキストの他にE-ラーニング教材を使用します(E-ラーニング教材は別途購入ではありません)。予習・復習をした上で実習に参加してください。

実習中にわからなかったところは必ず教員に確認し、復習しておいてください。

授業時間外に実技の練習を行う場合、前もって教員に連絡し、物品貸出手続きを行った上で、教員が大学にいる時間に行ってください。

6. その他履修上の注意事項

- ・看護学Ⅰの単位を修得していない学生、GPAが2.20以下の学生は履修できません。
- ・実習に必要な技術は、各自十分に練習してください。
- ・指定された記録物は必ず期日までに提出してください(提出遅延は採点しません)。
- ・詳細は実習ガイダンス時に配布する実習要項を参照してください。
- ・本科目と、看護実習Ⅱで着用する指定のユニフォームの購入があります(学生負担)。
- ・実習ガイダンス時に資料と実習要項を配布します。

7. 授業内容

- | | |
|-------|---|
| 【第1回】 | 実習ガイダンス、実習ノートの説明
診療所オリエンテーション(診療所の機能と役割の理解) |
| 【第2回】 | フィジカルアセスメントに必要なスキル
2回目までの予習範囲:テキスト2-20ページ、36-81ページを読み、実習ノートにまとめる。
触診・打診・聴診のポイント |
| 【第3回】 | フィジカルアセスメント・看護技術(呼吸器系)
3回目までの予習範囲:テキスト100-133ページを読み、実習ノートにまとめる。
E-ラーニング:コンテンツ→フィジカルアセスメント→呼吸器のアセスメントその1、その2 |
| 【第4回】 | フィジカルアセスメント・看護技術(循環器系)
4回目までの予習範囲:テキスト138-168ページを読み、実習ノートにまとめる。
E-ラーニング:コンテンツ→フィジカルアセスメント→循環器のアセスメント |
| 【第5回】 | フィジカルアセスメント・看護技術(消化器系)
5回目までの予習範囲:テキスト171-202ページを読み、実習ノートにまとめる。
E-ラーニング:コンテンツ→フィジカルアセスメント→消化機能のアセスメント、腹が痛い患者さんの場合 |
| 【第6回】 | フィジカルアセスメント・看護技術(脳神経系)
6回目までの予習範囲:テキスト226-319ページを読み、実習ノートにまとめる。
E-ラーニング:コンテンツ→フィジカルアセスメント→高次脳機能のアセスメント |
| 【第7回】 | フィジカルアセスメント・看護技術(筋・骨格系)
7回目までの予習範囲:テキスト326-347ページを読み、実習ノートにまとめる。
E-ラーニング:コンテンツ→フィジカルアセスメント→運動機能のアセスメント その1、その2 |
| 【第8回】 | 診療所見学実習(診療所の予定に合わせて実習を組むため、土曜日午前中に行う)
診療所実習前レポートを診療所実習前までに済ませ、教員に確認を受けておくこと。 |
| 【第9回】 | 実技演習(看護技術/フィジカルアセスメントを活用した事例演習)
予習:呼吸器系事例分析
呼吸器系実技テスト |

- 【第10回】 実技演習(看護技術/フィジカルアセスメントを活用した事例演習)
予習:消化器系事例分析
消化器系実技テスト
- 【第11回】 実技演習(看護技術/フィジカルアセスメントを活用した事例演習)
予習:脳・神経系事例
脳・中枢神経系実技テスト
- 【第12回】 実技演習(看護技術/フィジカルアセスメントを活用した事例演習)
予習:循環器系事例
循環器系・感覚器系実技テスト
- 【第13回】 実技演習(看護技術/フィジカルアセスメントを活用した事例演習)
予習:保健室対応事例(総合事例)
実技テスト
- 【第14回】 緊急度の判断
予習:緊急度判定プロトコルver.2を使用した緊急度判断事例(実習中に指示する)
プロトコルテスト
- 【第15回】 実習全体のまとめ